

社会資本総合整備計画 事後評価説明資料

所沢市上下水道局

令和2年11月

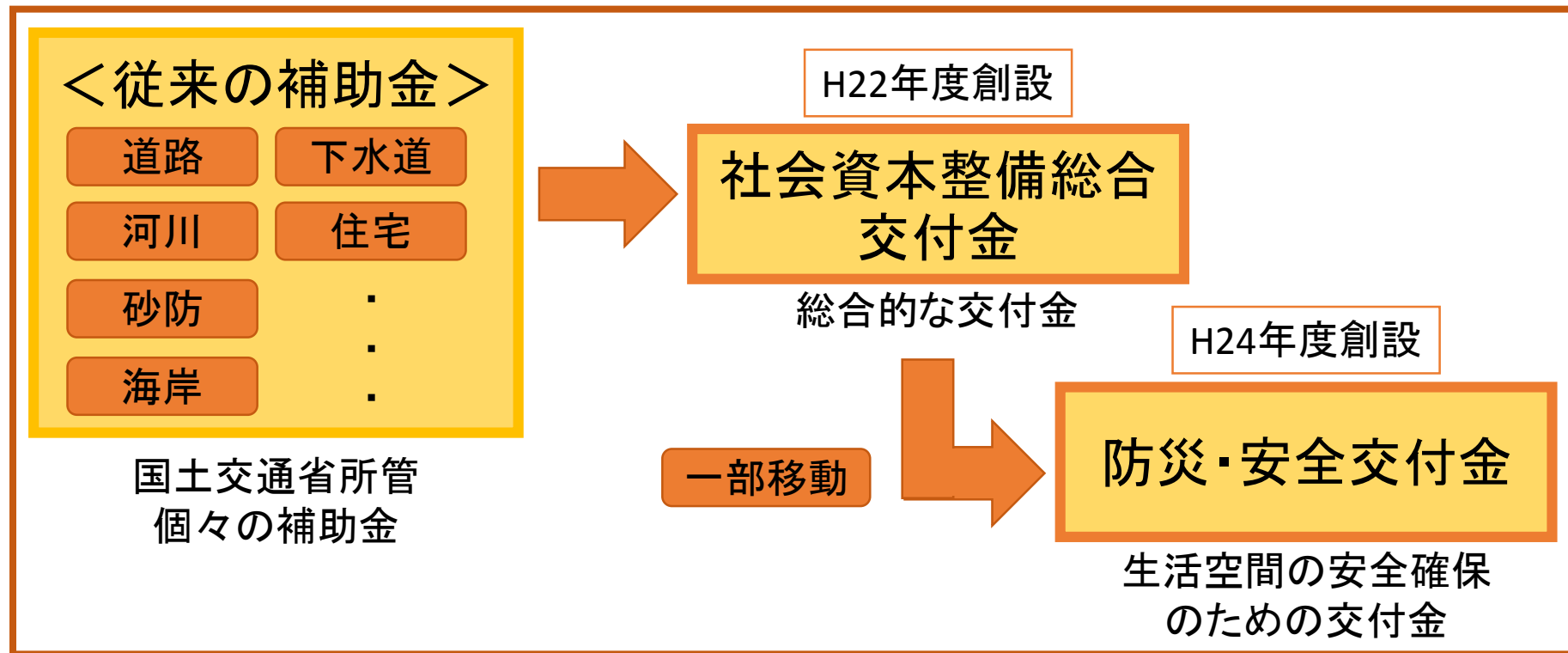
本日の流れ

- (1) 社会資本総合整備計画の概要
- (2) 生活環境の改善と公共用水域の水質保全の概要
- (3) 事後評価書の説明
 - I. 要素事業の進捗状況
 - II. 事業効果の発現状況・目標値の達成状況
 - III. 特記事項(今後の方針等)
- (4) 事後評価書 概要説明書について

(1) 社会資本総合整備計画の概要

生活環境の改善と公共用水域の水質保全

社会資本整備総合交付金の概要

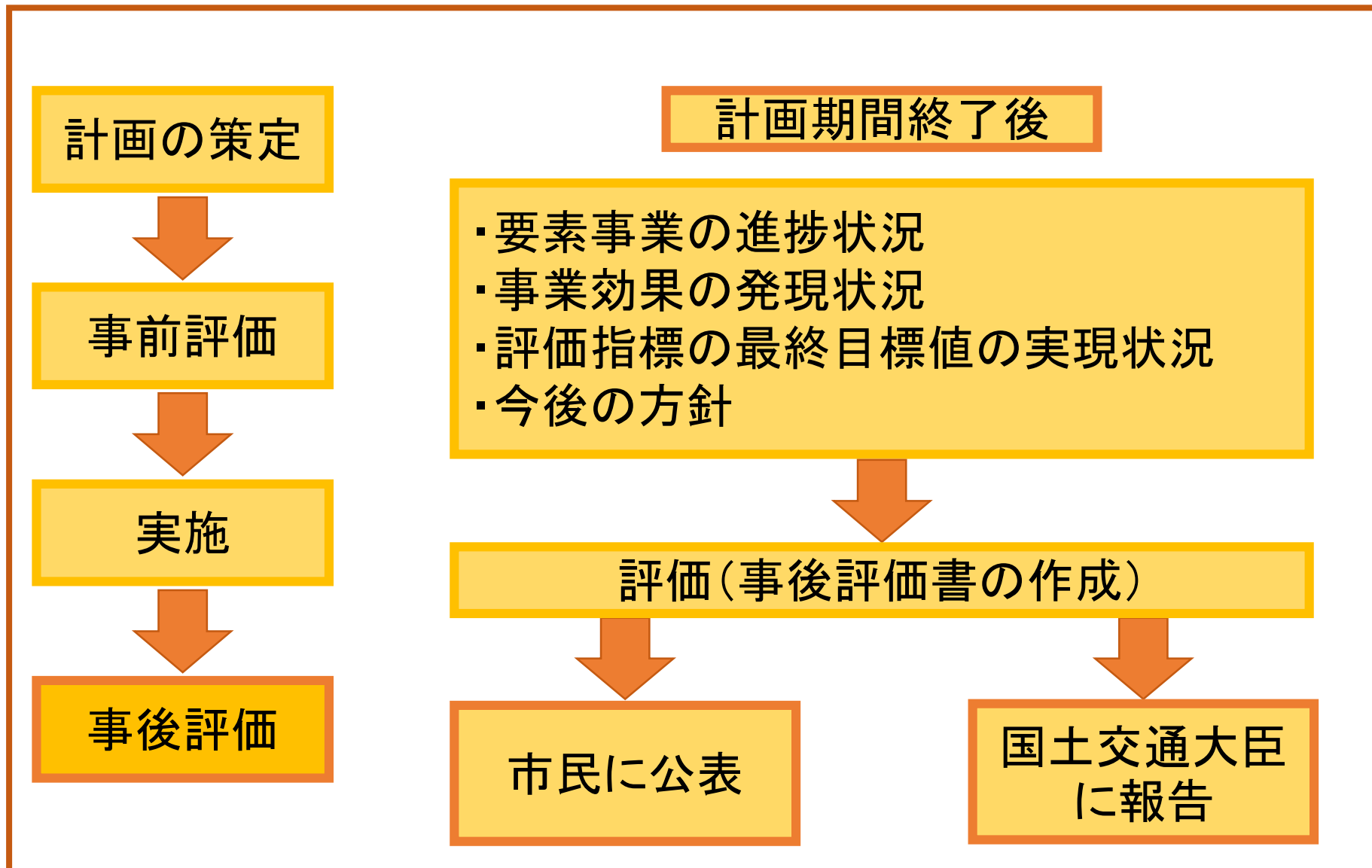


社会資本総合整備計画

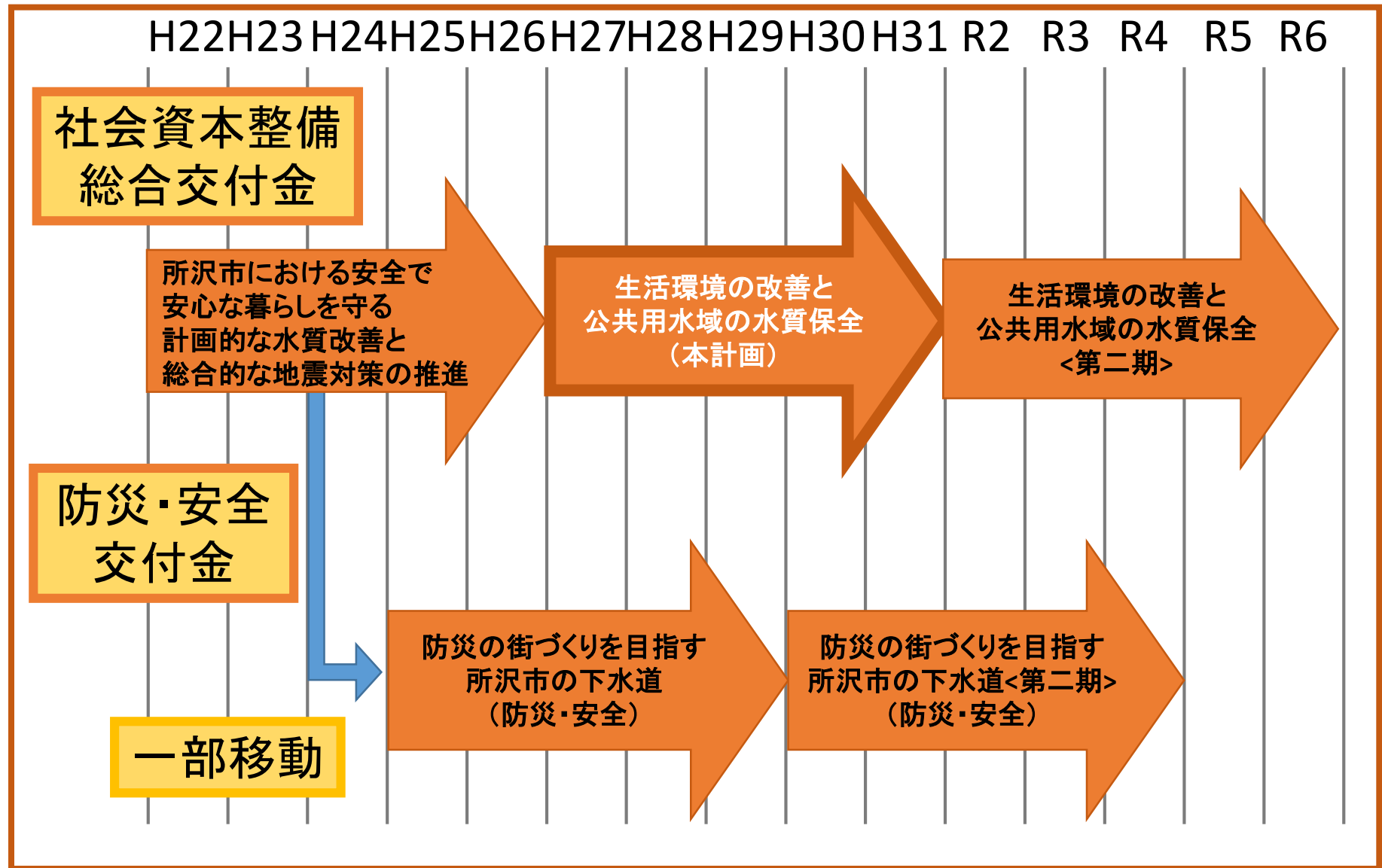
社会資本整備総合交付金・防災安全交付金には**社会資本総合整備計画**が必要

→国土交通大臣に提出

事後評価書の作成



所沢市の下水道事業における社会資本総合整備計画



(2) 生活環境の改善と 公共用水域の水質保全の概要

生活環境の改善と公共用水域の水質保全

計画の概要

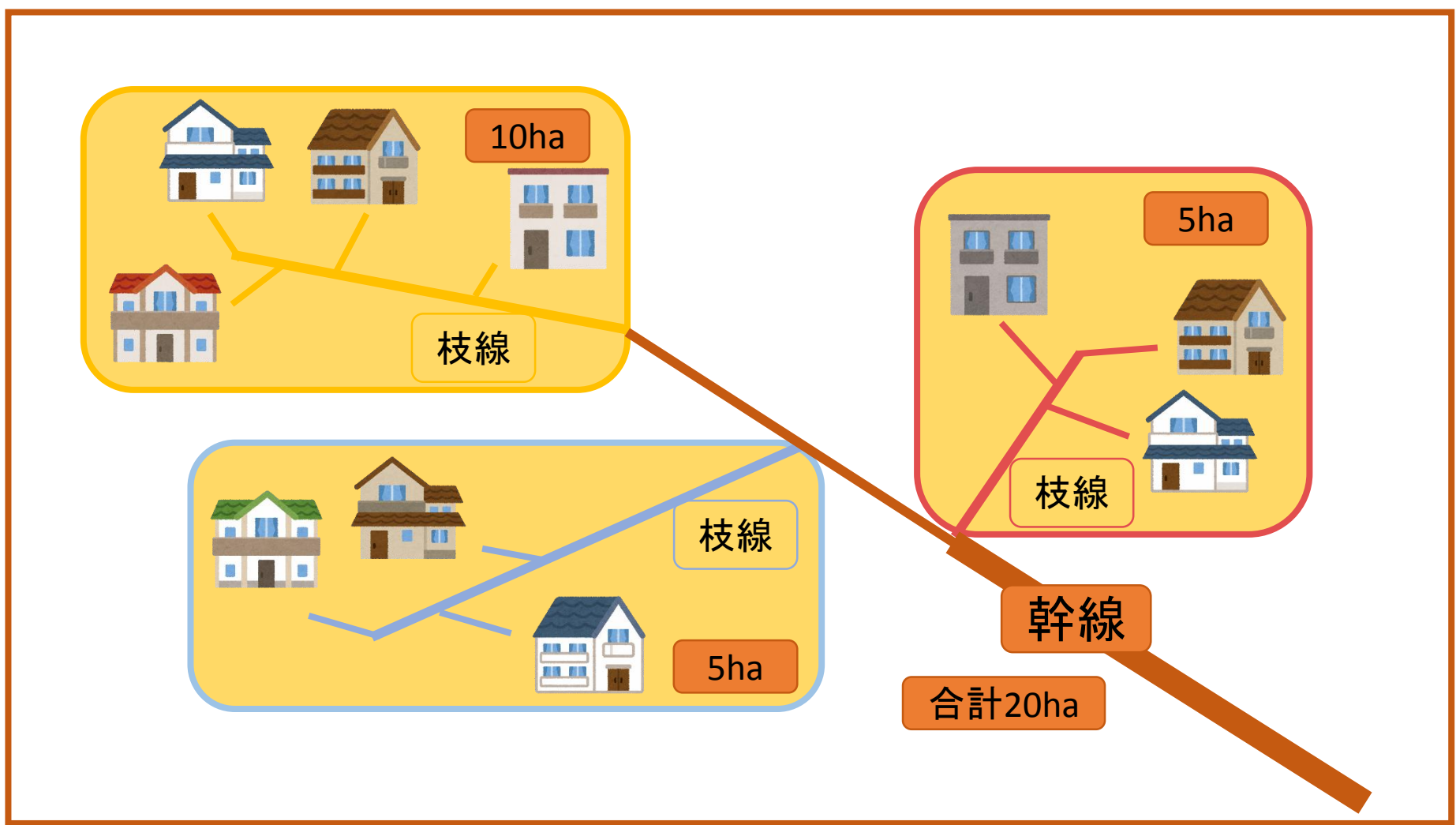
計画の名称	生活環境の改善と公共用水域の水質保全
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。
計画の 成果目標	①下水道処理人口普及率を92.9%（H27）から約94.6%（H31）に増加させる。 ②都市浸水対策達成率を57.0%（H27）から約57.2%（H31）に増加させる。
全体事業費	2,270百万円（22.7億円）
対象事業	①幹線及び関連枝線整備事業 ②岩岡雨水1号幹線整備事業

(3) - I . 要素事業の進捗状況

生活環境の改善と公共用水域の水質保全

事業概要

・ 幹線と枝線



事業概要

- ・下水道事業計画(汚水)

行政面積 : 7, 211ha

全体計画区域: 6, 600ha ※

処理区域面積: 約3, 278ha(令和元年度末)

※行政面積から山口貯水池及び米軍所沢通信基地を除いた面積

- ・下水道整備計画(汚水)

昭和32年度: 下水道整備を開始

平成14年度: 市街化区域の下水道整備が概ね完了

平成15年度: 市街地調整区域の下水道整備を開始

(第1次市街化調整区域下水道整備計画)

- ・第1次市街化調整区域下水道整備計画(汚水)

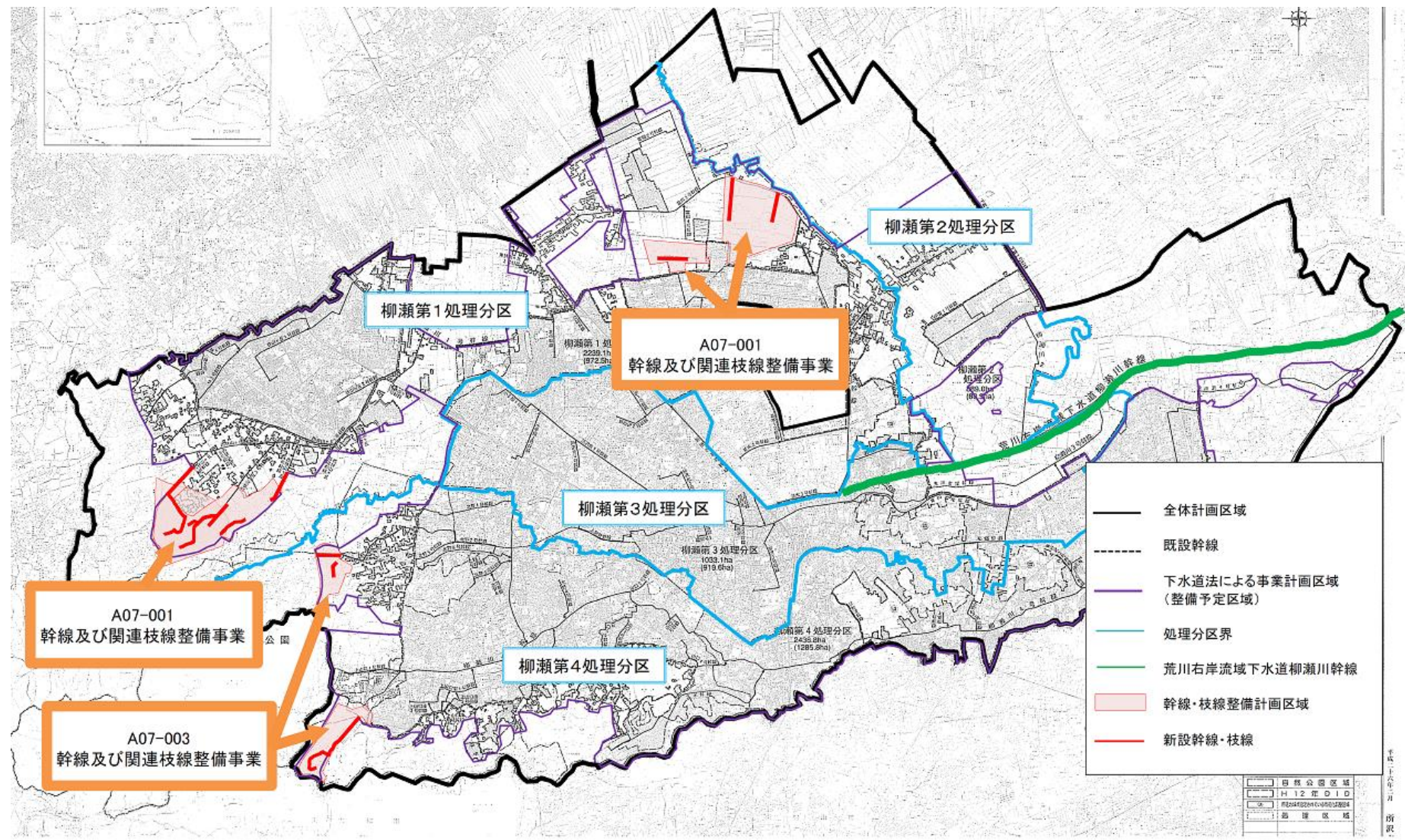
平成15年度～19年度: 第1期市街化調整区域下水道整備事業

平成20年度～24年度: 第2期市街化調整区域下水道整備事業

平成27年度～31年度: **第3期市街化調整区域下水道整備事業**

令和 2年度～ 6年度: 第4期市街化調整区域下水道整備事業

事業概要



事業概要

- ・下水道事業計画(雨水)

行政面積 : 7, 211 ha

全体計画区域 : 2, 988. 2 ha ※

整備面積 : 約1, 708. 1 ha(令和元年度末)

※市街化区域と、市街化区域に隣接している、もしくは住宅が密集している一部市街化調整区域の合計。

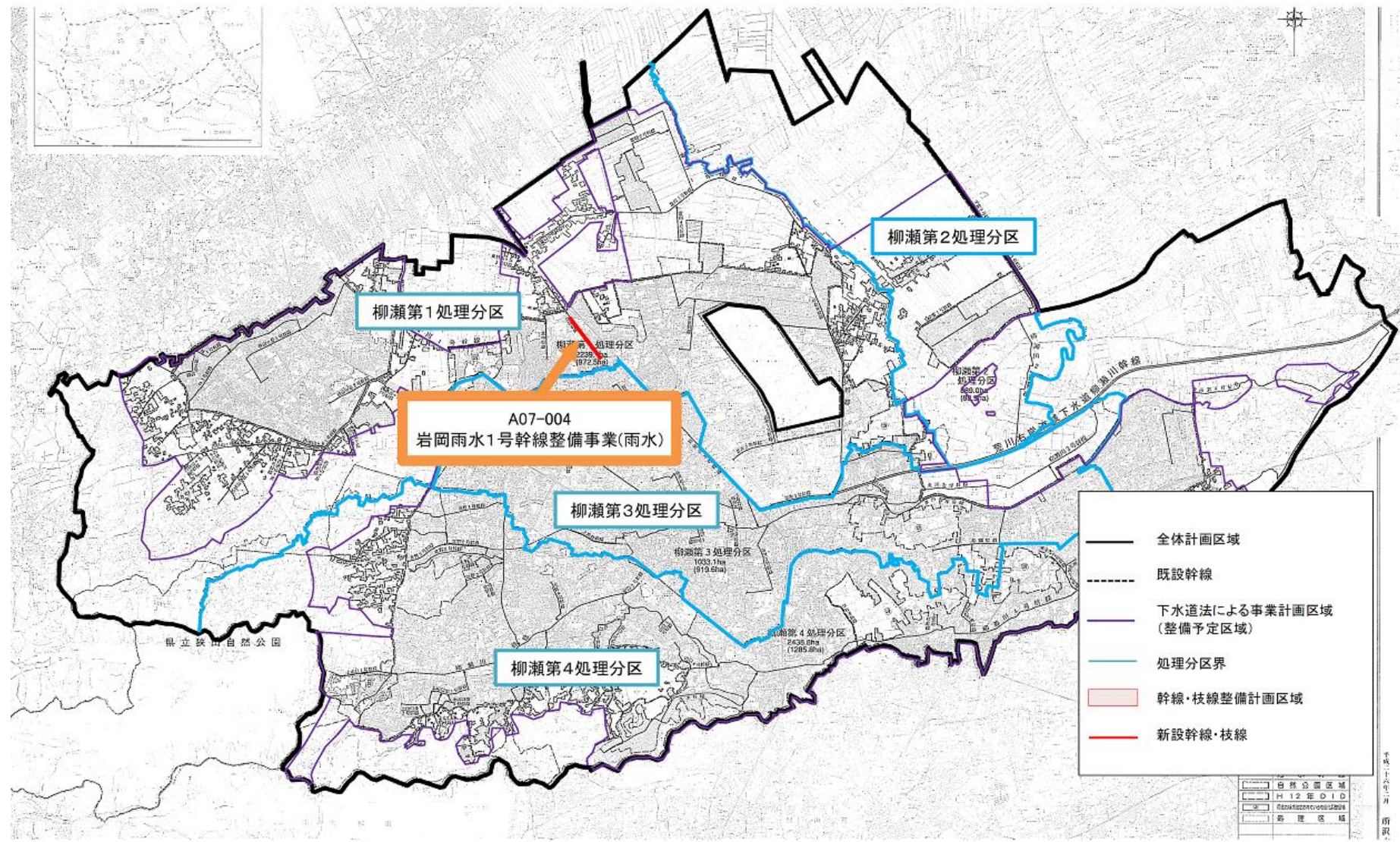
- ・下水道整備計画(雨水)

降水量、地形、浸水被害箇所及び放流先の状況を勘案し、主に、市街化区域の範囲に関して整備

- ・岩岡雨水1号幹線整備事業

都市計画道路(北野・下富線)の築造工事に伴い、周辺地域の雨水対策を講じるために整備

事業概要



事業概要

- ・内径2,600mm鉄筋コンクリート管632.3mの布設(推進工法)

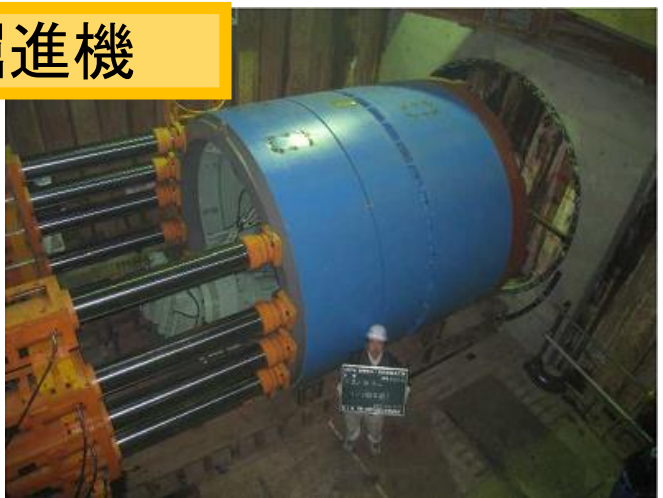
発進立坑



掘進機正面



掘進機



管内



事業概要

	番号(計画)	成果 目標	要素事業名	事業内容(計画)	全体事業費 (計画(百万円))	事業進捗 状況
	番号(実施)			事業内容(実施)	全体事業費 (実施(百万円))	
事業	A1-1-1	①	幹線及び関連 枝線整備事業	管渠 L=4,480m、舗装	760	平成27年度開始 平成29年度終了
	A07-001			管渠 L=3,991.5m、舗装	428	
	A1-2-1	①	幹線及び関連 枝線整備事業	管渠 L=150m、舗装	20	—
	A07-002			管渠 L=0m、舗装	0	
	A1-4-1	①	幹線及び関連 枝線整備事業	管渠 L=1,390m、舗装	200	平成27年度開始 平成29年度終了
	A07-003			管渠 L=1,454m、舗装	157	
	A1-6-1	②	岩岡雨水1号 幹線整備事業	管渠 L=632m	1,290	平成29年度開始 平成30年度終了
	A07-004			管渠 L=632m	1,130	
全体事業費					2,270	
					1,715	

※事後評価書 2 ページ目への記載内容

事業内容：計画時のものを記載

事業費：実施額を記載

→事業内容（実施）については 3 ページ目特記事項に記載

(3)-Ⅱ. 事業効果の発現状況・ 目標値の達成状況

生活環境の改善と公共用水域の水質保全

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

記述内容

未普及地区の污水管整備を行ったことにより、多くの市民の生活環境の改善と公共用水域の環境保全が図られた。

- ・交付金対象事業及び単独事業による一体的な整備により、5年間で約6,000人の市民が新たに下水道への接続が可能となったことから、市民の生活環境が改善されたものと考えています。
- ・また、市内の河川の水質も概ね環境管理目標値(※1)以下で、横ばいもしくは減少傾向にあることから、市民による水質浄化の取り組みや浄化槽設置の促進などと併せて下水道整備も水質保全に貢献したものと考えています。

説明

※環境データブック2020（所沢市環境対策課作成）より抜粋

所沢市環境基本計画において、柳瀬川の二柳橋、東川の中橋を環境管理目標値により評価することとしています。

河川名(採水地点)	R1年度BOD75%値(※2)	目標値
柳瀬川(二柳橋)	2.5mg/L	5.0mg/L以下
東川(中橋)	2.6mg/L	5.0mg/L以下

※1 所沢市環境基本計画において所沢市が独自に定めた基準。
※2 ある水域が環境基準を達成しているか否かの判断に用いられる。

Ⅱ 定量的指標の達成状況

<p>計画の成果目標 (定量的指標)</p>	<p>下水道処理人口普及率を92.9%(平成27年度)から約94.6%(平成31年度)に増加させる。</p>			
<p>定義及び算定式</p>	<p>(定義) 下水道処理人口普及率 (算定式) 下水道を使用できる人口(人) / 総人口(人)</p>			
<p>指標の進捗</p>	<p>当初現況値 (平成27年度当初)</p>	<p>最終目標値 (平成31年度末)</p>	<p>実績値 (平成31年度末)</p>	<p>目標達成 状況</p>
	<p>92.9%</p>	<p>94.6%</p>	<p>94.4%</p>	<p>未達成</p>
<p>目標値と実績値 に差が出た要因</p>	<p>幹線及び関連枝線整備事業は、市の汚水に係る5年間の整備事業である第3期市街化調整区域下水道整備事業に含まれており、第3期市街化調整区域下水道整備事業全体としては、当初の計画通り必要な整備は概ね完了している。しかしながら、下水道処理人口普及率を「下水道を利用できる人口/総人口」としていることから、平成26年時点の人口推計を用いて、目標値の設定を行ったが、実際の人口と差異が生じたことにより、目標値よりも若干低い数値となった。</p>			

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

<p>記述内容 (必要に応じて)</p>	<p>—</p>
--------------------------	----------

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

記述内容	・雨水管整備を行ったことにより、浸水被害のリスクが軽減され、市民が安心できる暮らしの実現に大きく寄与した。
説明	・雨水管を整備したことにより、周辺の浸水対策が図られたものと考えています。

II 定量的指標の達成状況

計画の成果目標 (定量的指標)	都市浸水対策達成率を57.0%(平成27年度)から約57.2%(平成31年度)に増加させる。			
定義及び算定式	(定義) 都市浸水対策達成率 (算定式) 概ね1/5整備済面積(ha) / 計画区域面積(ha)			
指標の進捗	当初現況値 (平成27年度当初)	最終目標値 (平成31年度末)	実績値 (平成31年度末)	目標達成 状況
	57.0%	57.2%	57.2%	達成
目標値と実績値 に差が出た要因	-			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

記述内容 (必要に応じて)	-
------------------	---

(3)-Ⅲ. 特記事項（今後の方針等）

生活環境の改善と公共用水域の水質保全

事業内容について(汚水)

- ・A07-001、002、003の幹線及び関連枝線整備事業は、市の汚水に係る5年間の整備事業である第3期市街化調整区域下水道整備事業に含まれる。当計画のA07-001、002の事業内容は計画値に比べて実施の延長、全体事業費が少なくなっているが、交付金事業を単独事業に振り替えて整備を行い、第3期市街化調整区域下水道整備事業全体としては、必要な整備は概ね完了している。
- ・「A07-001幹線及び関連枝線整備事業」については、事業計画上4,480mであったが、社会資本整備総合交付金を用いて行った実績値は3,991.5mである。
- ・「A07-002幹線及び関連枝線整備事業」については、事業計画上150mであったが、社会資本整備総合交付金を用いて行った実績値は0mである。
- ・「A07-003幹線及び関連枝線整備事業」については、事業計画上1,390mであったが、社会資本整備総合交付金を用いて行った実績値は1,454mである。

事業内容について(雨水)

- ・「A07-004の岩岡雨水1号幹線整備事業」については、事業計画と社会資本整備総合交付金を用いて行った実績値に差異はない。

今後の方針

- ・幹線および関連枝線整備事業(未普及対策)は、生活環境の改善や河川等の水質保全を図るため、引き続き新しい社会資本総合整備計画(令和2年度～令和6年度)において進める。
- ・都市浸水対策は、降水量、地形、浸水被害箇所および放流先の状況を勘案し、適宜進める。

(4) 事後評価書 概要説明書について

生活環境の改善と公共用水域の水質保全

社会資本総合整備計画 事後評価書

概要説明資料

社会資本総合整備計画とは？

国土交通省所管の社会資本整備総合交付金を受けて、下水道事業を実施するにあたり、必要な計画です。
今回、事後評価を行った計画は、平成27年度～令和元年度の「生活環境の改善と公共用水域の水質保全」という計画です。
本計画では「下水道処理人口普及率を94.6%に増加させる」、「都市浸水対策達成率を57.2%に増加させる」を目標としていました。

事後評価について

計画期間終了後に、事業の進捗状況・効果の発現状況・評価指標の最終目標値の実現状況・今後の方針を事後評価書としてまとめ、国土交通大臣に報告し、市民に公表する必要があります。
事後評価の実施に当たっては、第三者の意見を求めるよう規定されており、所沢市では、公共事業評価委員会に意見を求めました。

①幹線及び関連枝線整備事業

事後評価書への記載事項	計画の成果目標（定量的指標）	下水道処理人口普及率※1を92.9%から94.6%に増加させる			
	定量的指標の定義及び算定式	下水道処理人口普及率＝下水道を使用できる人口(人)/総人口(人)			
	対象事業	A07-001「幹線及び関連枝線整備事業」 A07-002「幹線及び関連枝線整備事業」 A07-003「幹線及び関連枝線整備事業」			
	交付対象事業の効果の発現状況	未普及地区の污水管整備を行ったことにより、多くの市民の生活環境の改善と公共用水域の環境保全が図られた。			
	指標の達成状況	目標値	94.6%	実績値	94.4%
	目標値と実績値に差が出た要因	幹線及び関連枝線整備事業は、市の汚水に係る5年間の整備事業である第3期市街化調整区域下水道整備事業に含まれており、第3期市街化調整区域下水道整備事業全体としては、当初の計画通り必要な整備は概ね完了している。しかしながら、下水道処理人口普及率を「下水道を利用できる人口/総人口」としていることから、平成26年時点の人口推計を用いて、目標値の設定を行ったが、実際の人口と差異が生じたことにより、目標値よりも若干低い数値となった。			
補足説明	<p>1. 事業の概要 所沢市では生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、平成15年度から、「第一次市街化調整区域下水道整備計画」に基づき、下水道整備事業を進めています。この整備事業は市街化調整区域において、20年を計画期間とし、5年ごとに第1期～第4期に分けて進めています。今回の「幹線及び関連枝線整備事業」は、第3期市街化調整区域下水道整備事業に含まれています。</p> <p>2. 指標の説明 下水道処理人口普及率※1は、下水道を使用できる人口を総人口で割ったものです。整備済面積ではなく人口普及率を指標としていますが、下水道事業においては一般的な指標であり、全国的に人口普及率を用いて、整備状況を発表しています。令和元年度末における下水道処理人口普及率の全国平均は79.7%、埼玉県平均は81.9%となっています。</p> <p>3. 事業の進捗 「幹線及び関連枝線整備事業」の計画延長と実施延長に差異がありますが、記載の延長は交付金を財源とした事業を対象としており、一部事業を交付金を財源とした事業から、単独費（市費）を財源とした事業に切り替えたことによるものです。第3期市街化調整区域下水道整備事業全体としては、当初の計画通り必要な整備は概ね完了しています。</p>				

②岩岡雨水1号幹線整備事業

事後評価書への記載事項	計画の成果目標（定量的指標）	都市浸水対策達成率 ^{※2} を57.0%から57.2%に増加させる。			
	定量的指標の定義及び算定式	都市浸水対策達成率＝概ね1/5整備済み面積(ha)/計画区域面積(ha)			
	対象事業	A07-004「岩岡雨水1号幹線整備事業」			
	交付対象事業の効果の発現状況	雨水管整備を行ったことにより、浸水被害のリスクが軽減され、市民が安心できる暮らしの実現に大きく寄与した。			
	指標の達成状況	目標値	57.2%	実績値	57.2%
	目標値と実績値に差が出た要因	記載なし			
補足説明	<p>1. 事業の概要 岩岡雨水1号幹線整備事業は、都市計画道路（北野・下富線）の築造工事に伴い、周辺地域の雨水対策を講じるために整備されました。</p> <p>2. 指標の説明 都市浸水対策達成率^{※2}は、概ね1/5整備済み面積を計画区域面積で割ったものになります。概ね1/5整備済み面積とは、5年に1度の降雨に対応した整備を行った面積のことであり、1時間54mmの雨に相当します。計画区域面積とは、市全域において雨水管により、雨水を排除することを計画している面積のことです。 今回、岩岡雨水1号幹線を整備することにより、概ね1/5整備済み面積が増加することから、目標値を57.2%と設定しました。</p> <p>3. 事業の進捗 計画通りに進捗したことにより、目標値を達成しています。</p>				

ご清聴
ありがとうございます
ございました
